

令和7年度 春日山原始林・奈良公園フィールドワーク

第6回 概要報告

奈良教育大学 ESD・SDGs センター研究員 杉山 拓次

■第6回 高円山の自然

実施日：10月19日（日）9:00～14:00

参加者：1名（学部生：1名、教職員：杉山、中澤）

概要：春日山の南に位置する高円山を歩き、春日山との違いや共通の課題について考えます。大文字焼きの火床から奈良の風景を楽しみます。

スケジュール	
9:00	奈良教育大学正門集合/自己紹介
9:05	高畑町～白毫寺町～高円山登山口
10:00	高円山登山～火床
11:00	火床からの景観を楽しむ（昼食休憩）
11:40	山頂までさらに上る
12:20	高円山山頂（ホテル跡地）→下山
13:30	滝坂の道へ降りる
14:00	高畑を歩きながら大学正門へ。解散

■概要報告

当初予定では2名の申し込みであったが、1名が体調不良により欠席となり参加者1名で実施することとなった。当日は、雨後の涼しい空気の中で歩くことができた。高円山は年々倒木や土砂の流出が見られ、手入れが必要な状況のように感じる。火床手前では鹿による樹皮剥ぎの影響が多く見られており、農地以外の森林においてもシカの影響を色濃い。火床からは東大寺大仏殿が見え、いつも通り清々しい風景であった。山頂へ目指して歩くと、防空壕跡と思われる穴、高円山が薪炭林出会ったということがわかる伐採後の木々の様子など、高円山がどのように人々に利用されているかを実感するような状況を確認した。学生は1名であったが、気持ちの良い山登りを楽しんでいたようだ。

■写真

	
火床から枚方方面を眺める	シカの樹皮剥ぎ被害を受けたエゴノキ